

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公開番号】特開2000-262292(P2000-262292A)

【公開日】平成12年9月26日(2000.9.26)

【出願番号】特願平11-76432

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 9/26 (2006.01)

D 0 6 M 16/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

D 0 6 M 101/06 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 9/26 Z

D 0 6 M 16/00 Z

C 1 2 N 5/00 A

D 0 6 M 101:06

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月15日(2006.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 配列番号1に示すアミノ酸配列からなるタンパク質、又はこの配列において1もしくは数個のアミノ酸が欠失、置換もしくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつプロトペクチナーゼ活性を有するタンパク質。

【請求項2】 シグナルペプチドがさらに付加されてなる請求項1に記載のタンパク質。

【請求項3】 配列番号2に示すアミノ酸配列からなるタンパク質、又はこの配列において1もしくは数個のアミノ酸が欠失、置換もしくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつプロトペクチナーゼ活性を有するタンパク質をコードする請求項2に記載のタンパク質。

【請求項4】 1)プロトペクチナーゼ活性を有し；2)SDS-ポリアクリルアミドゲル電気泳動ゲル上での分子量が約43,000であり；3)至適pHが8.0であり；4)至適温度が60℃であり；かつ5)Cu、Hg、Mn及びZnにより阻害を受ける性質を有する請求項1～3のいずれか1つに記載のタンパク質。

【請求項5】 請求項1～4のいずれか1つに記載のタンパク質をコードする遺伝子。

【請求項6】 配列番号3に示す配列の塩基番号358～1557で表される塩基配列を有

する請求項 5 に記載の遺伝子。

【請求項 7】 請求項 5 又は 6 に記載の遺伝子を含有する組換えベクター。

【請求項 8】 請求項 7 に記載の組換えベクターを含む形質転換体。

【請求項 9】 形質転換体の宿主が、微生物である請求項 8 に記載の形質転換体。

【請求項 10】 請求項 8 又は 9 に記載の形質転換体を用いる請求項 1 に記載のタンパク質の製造方法。

【請求項 11】 請求項 8 又は 9 に記載の形質転換体を製造する方法。

【請求項 12】 請求項 8 又は 9 に記載の形質転換体を用いるセルロース繊維の精練方法。

【請求項 13】 請求項 12 に記載の方法により処理されたセルロース繊維。